土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　草木高光線外単県道路改良事業に伴う業務委託

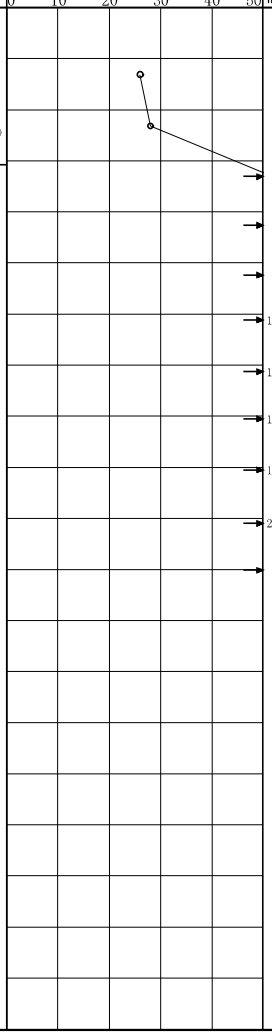
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	No.5	**調査位置**				**北緯**	34° 39′ 42.5429″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2020年 9月 5日 ～ 2020年 9月 10日	**東経**	133° 18′ 22.1586″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 523.21m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	15.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦 DO-B		
エンジン	ヤンマーNFD12	**ポンプ**	東邦BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	523.01	0.20		礫質土	礫質土	暗灰			表土、砕石主体	
1 2	520.21	3.00		礫岩	砂礫	黄褐	rd3		強風化礫岩(礫・玉石混じり土砂) 強風化した礫岩で、礫・玉石間は指圧で砂礫状に崩れる。 礫・玉石は最大でコア長10cm程度で、硬質なものが多い。	09/10 3.08
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	508.21	15.00		礫岩	軟岩I	褐～灰	rd5		風化礫岩(軟岩I) 上位強風化層と比較し、風化の程度が弱く礫間やや固結している。 礫間は強い指圧、ハンマー軽打で崩れる。 礫種は安山岩、斑岩、チャートなど様々で、硬質なものが多い。 礫・玉石は最大でコア長30cm程度。 深さ方向に風化の程度弱くなり、全体的に硬質となる。	
16 17 18 19										

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
26	1.15 / 1.45	8	10	8	26 / 300		
28	2.15 / 2.45	7	9	12	28 / 300		
52	3.15 / 3.44	12	20	18	50 / 290	290	
75	4.15 / 4.35	19	31		50 / 200	200	
94	5.15 / 5.31	22	28 / 60		50 / 160	160	
150	6.05 / 6.15	50			50 / 100	100	
115	7.05 / 7.18	30	20 / 30		50 / 130	130	
188	8.00 / 8.08	50 / 80			50 / 80	80	
188	9.00 / 9.08	50 / 80			50 / 80	80	
214	10.05 / 10.12	50 / 70			50 / 70	70	
	11.00 / 11.00	50 / 0			50 / 0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.00	S-1	Ⓢ	三軸CD		9/5
2.00					9/8
					9/9
					10/10